

ルアンパバーン 都市交通マスタープラン (2025-2045年)

世界遺産都市ルアンパバーンの文化・景観・歴史的建造物を
守りながら、安全で快適、環境にやさしい持続可能な
都市交通システムを実現します



現状問題と今後の課題

ルアンパバーンは、人口の増加や郊外部の都市化の進展に加え、観光客数の急増など、さまざまな問題に直面しています。これらの問題は、交通安全、都市機能、来訪者満足度、さらには世界遺産としての価値にも影響を及ぼしています。

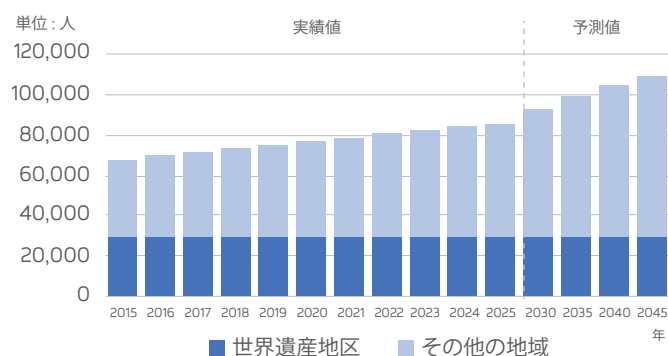
- 1 包括的で均衡のとれた交通システムの構築
- 2 持続可能で観光客にやさしい移動システムの提供
- 3 安全性向上のためのインフラ整備と意識啓発の強化
- 4 歴史的景観を保全するための公共空間の活用

今後は、持続可能で包括的な都市交通システムを確立するとともに、ルアンパバーンの歴史的景観を適切に保全していくことが重要です。そのため、公共交通やマイクロモビリティの導入、駐車管理の改善、交通安全対策の強化、歩行環境の整備、そして人の移動と歴史的魅力の両立を図るプレイスメイキングの推進が求められています。



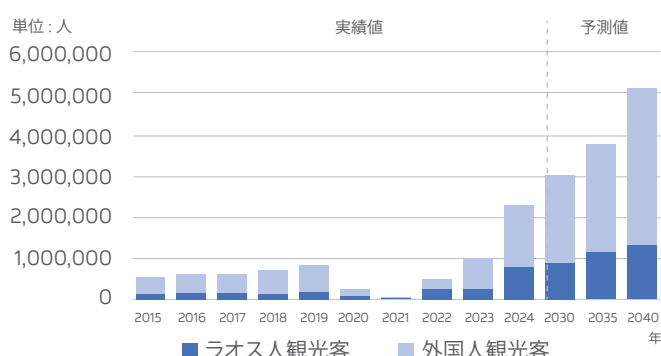
将来の動向

人口の増加と郊外部の都市化が進む一方で、観光客数も急速に増加しています。今後も人口・観光需要のさらなる増加が見込まれる中、現行の交通システムだけでは需要を十分に支えることが難しく、持続可能で安全かつ円滑な移動手段の確保が必要となっています。



対象地域の人口

Source: JICA Expert Team based Population Census in 2025



ルアンパバーン県の入込観光客数

Source: JICA Expert Team based based on DoCT data

将来ビジョン

この将来ビジョンは、本マスタープランの基礎となるものであり、住民、来訪者、行政機関、事業者など、すべての関係者が共有する方向性を示しています。本ビジョンは単なる目標ではなく、地域全体が同じ方向を目指して取り組むための共通の指針です。

ルアンパバーンという世界遺産都市の文化・景観・歴史的建造物を守りながら、安全で快適、環境にやさしく、持続可能な都市交通システムを実現します。

ゴール

本マスタープランにおけるゴールは、ビジョンが実現された際に達成される具体的な成果を示すものです。本都市交通マスタープランでは、「生活」「観光」「産業」の3つの視点から目標を整理し、ビジョンが実現した将来の姿を示しています。

生活

本マスタープランの最も重要な目標は、都市交通システムの改善を通じて、ルアンパバーンに暮らすすべての人々の生活の質を向上させることです。

- 包括的な交通システムの構築により、誰もがより自由で快適に日常生活を送ることができます。
- 道路整備を通じて、日常の移動における安全性と信頼性が確保されます。
- 環境にやさしい車両への転換を促進することで、より良好な道路環境が実現されます。



観光

ルアンパバーンの貴重な歴史遺産と文化を来訪者が十分に享受できるよう、歴史的景観に配慮した街路空間の再構築と、観光客の移動を考慮した交通システムを整備します。

- 世界遺産地区 (WHZ) において、機能的で利用しやすい交通システムを整備することで、観光客の移動利便性が向上します。
- 安全で信頼性の高いアクセスを確保することで、郊外の観光資源への来訪が促進されます。
- 街路のデザインと使い方を見直すことで、都市の普遍的価値が一層高められます。



産業

ルアンパバーンは、空港・鉄道・道路からなる広域交通インフラを有しています。これらをつなぐ幹線道路ネットワークを整備し、物流効率の向上を図ります。

- 経済特区 (SEZ) や物流拠点間の接続性向上により、物流効率が改善されます。
- 新たな道路整備と官民連携を通じて、新しいビジネス機会が創出されます。
- 市場周辺の駐車施設整備により、荷捌きの効率が向上します。



基本方針

以下の交通分野における方針は、ルアンパバーン全域において、人を中心とした、つながりのある魅力的な都市空間を形成することを目的としています。これらの方針は、安全性の確保、人の移動の円滑化、そして魅力的で持続可能な公共空間の創出を重視しながら、包摂的で複合的な交通システムの実現を目指す、ルアンパバーンの将来ビジョンを具体化するものです。

移動の権利 (モビリティ・ ライツ) の確保

01. すべての道路において、他の交通手段に優先して、歩行者や車いす利用者など人の移動を最優先とします。
02. マルチモーダルな交通手段の選択肢を拡充し、すべての市民にとって公平な都市内移動を実現します。
03. 教育、工学的対策、取締りの3つの視点により、すべての道路で交通安全を向上させます。
04. 物流機能を支えつつ、生活空間における交通静穏化にも寄与する、階層的な道路ネットワークを再構築します。

魅力的な 空間の 創出

05. 世界遺産地区の歴史的特性に配慮した、魅力的な街路や公共空間を創出します。
06. 土地利用の状況に応じて、路上駐車などに使われがちな道路縁石空間(カーブスペース)を、より有効に活用します。

より良い 将来の構築

07. モビリティサービス分野において、健康的で環境に配慮した開発方針を推進します。
08. 新たな技術を積極的に取り入れ、移動や交通の効率性と安全性を高めます。

持続可能な 体制の構築

09. 都市交通システムの整備・運営を支えるための財源確保の仕組みを検討・推進します。
10. 都市および交通管理について、包括的かつ柔軟に議論できる分野横断的なプラットフォームを構築します。

戦略

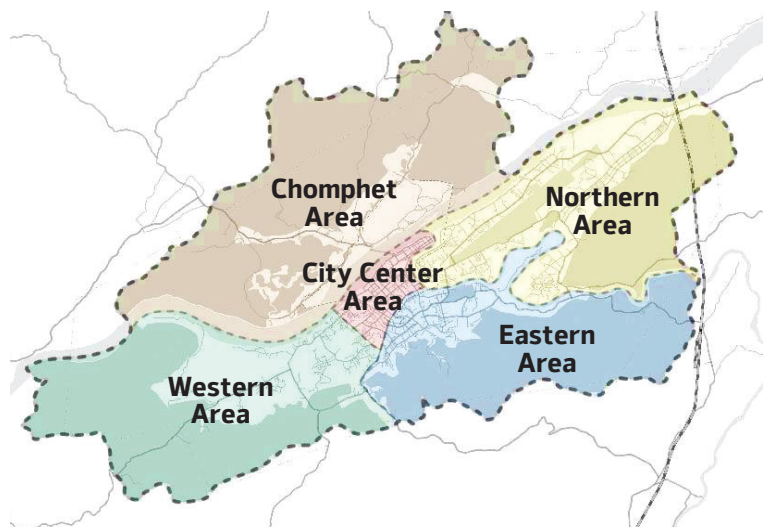


本マスタープランにおける戦略は、方針を実行に移し、ビジョン(P.3)を実現するための全体的なアプローチおよび方法論を示すものです。具体的な施策やアクション(P.5-8)の基盤として、体系的に整理しています。

- 1 都市交通システムの階層構造の確立
- 2 歩行者環境の向上
- 3 自転車利用の促進
- 4 包摂的な公共交通の整備
- 5 階層的な道路ネットワークの構築
- 6 世界遺産地区の歴史的価値の保全と活用
- 7 統合的な交通マネジメントの推進
- 8 新技術の活用による交通の効率化と安全性向上

アクション

アクションは、ゴールおよび戦略に基づき、都市交通システムを具体的な施策へと転換するための実行段階です。本マスタープランでは、変化を確実に実現するため、アクションをエリア別アクションと全域アクションの2つに整理しています。エリア別アクションでは、5つの対象エリアそれぞれについて、地域特性や課題を踏まえた目的・施策内容・効果を明確に示しています。



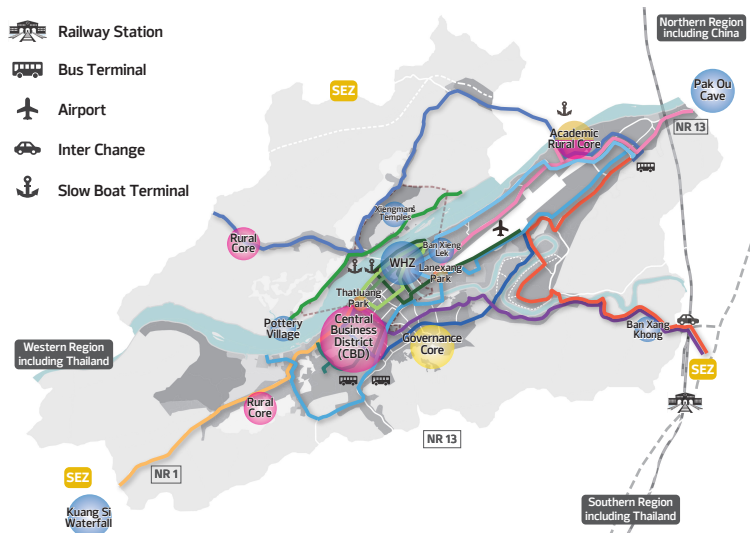
5つの対象エリア



全域アクション

包摂的な公共交通の整備

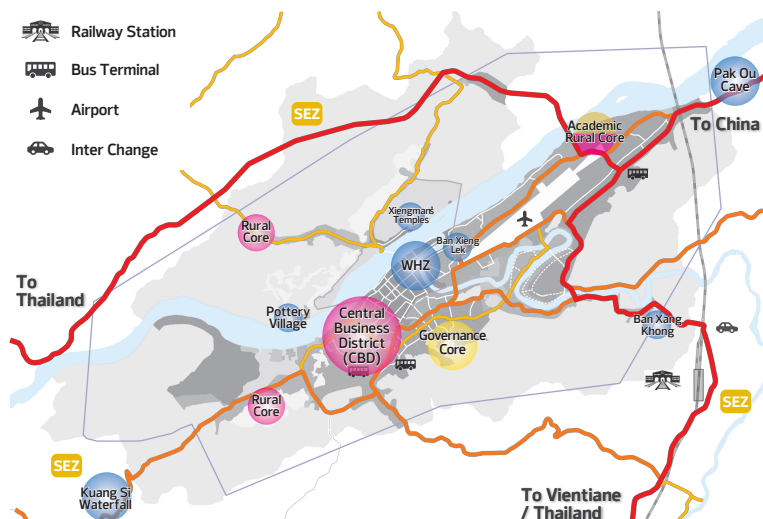
市街地および郊外を結ぶ公共交通ネットワークを構築し、ルアンパバーン全域の移動性を向上させます。これにより、住民や来訪者が、安全かつ快適に公共交通を利用できる環境を整備します。



将来の公共交通ネットワーク

階層的な道路ネットワークの構築

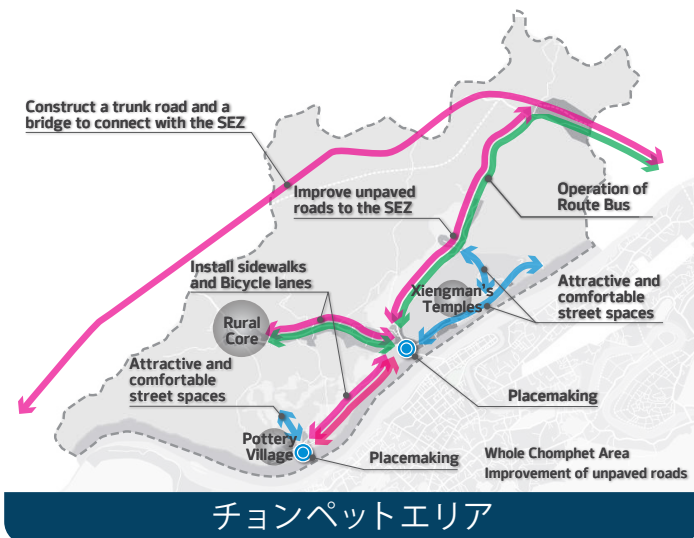
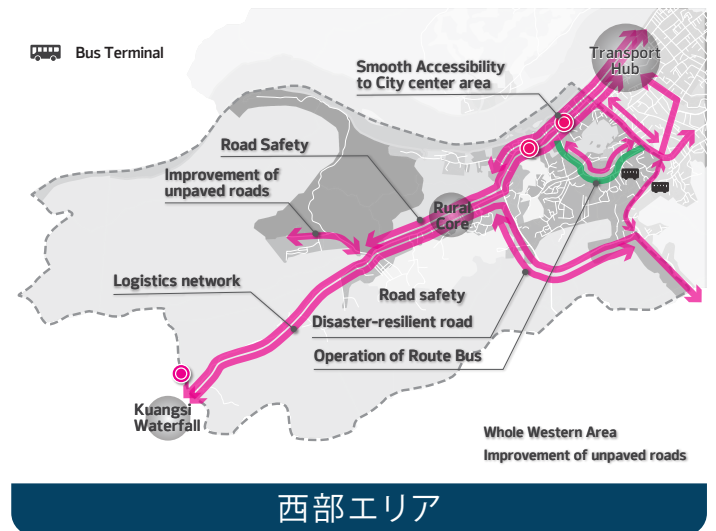
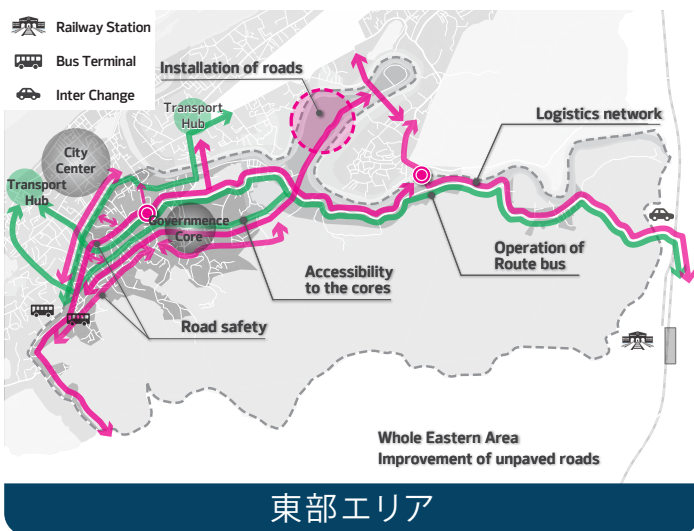
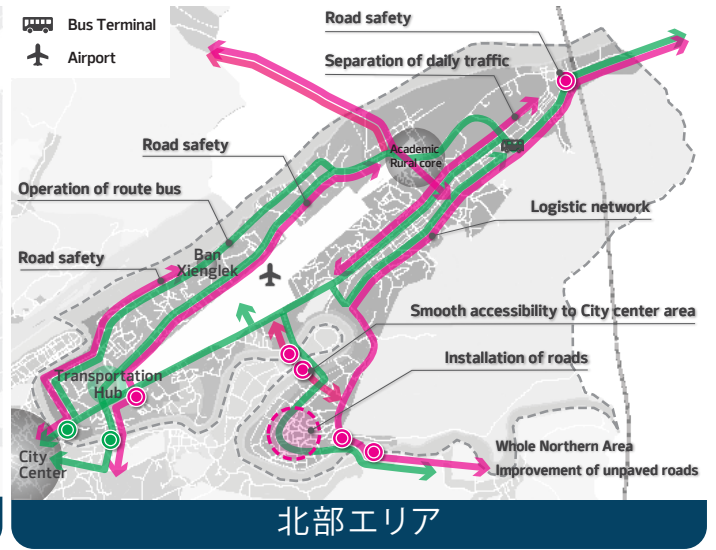
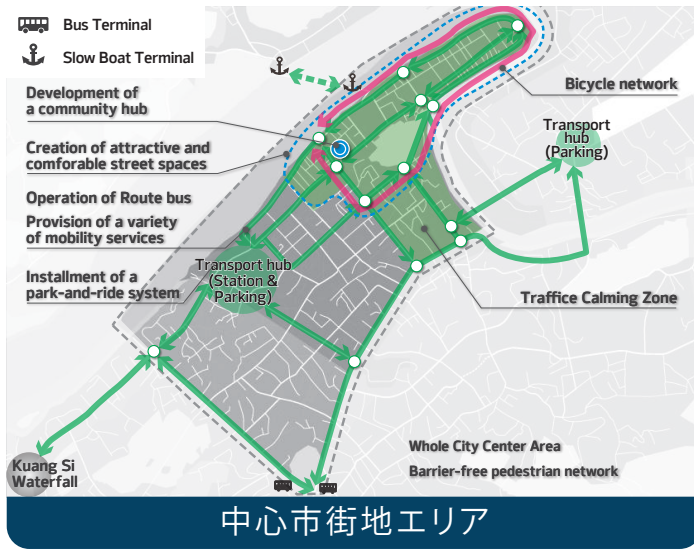
道路の機能に応じた階層構造を明確にすることで、交通流の円滑化を図ります。幹線道路では通過交通を適切に処理し、生活道路では交通静穏化を進めることで、地域内の安全性と快適性を高めます。また、市街地と郊外の連結性を向上させ、物流効率や観光アクセスの改善、地域産業の振興に寄与します。



将来の道路ネットワーク

エリア別アクション

エリア別アクションは、各エリアの特性を踏まえ、その潜在力を最大限に引き出すとともに、役割を明確化し、地域ニーズに対応することで、バランスの取れた都市発展を支えるものです。全域アクション (P.5参照) と組み合わせることで、持続可能かつ効率的な都市交通の基盤を形成します。

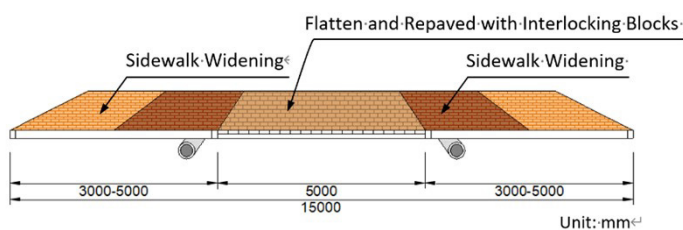
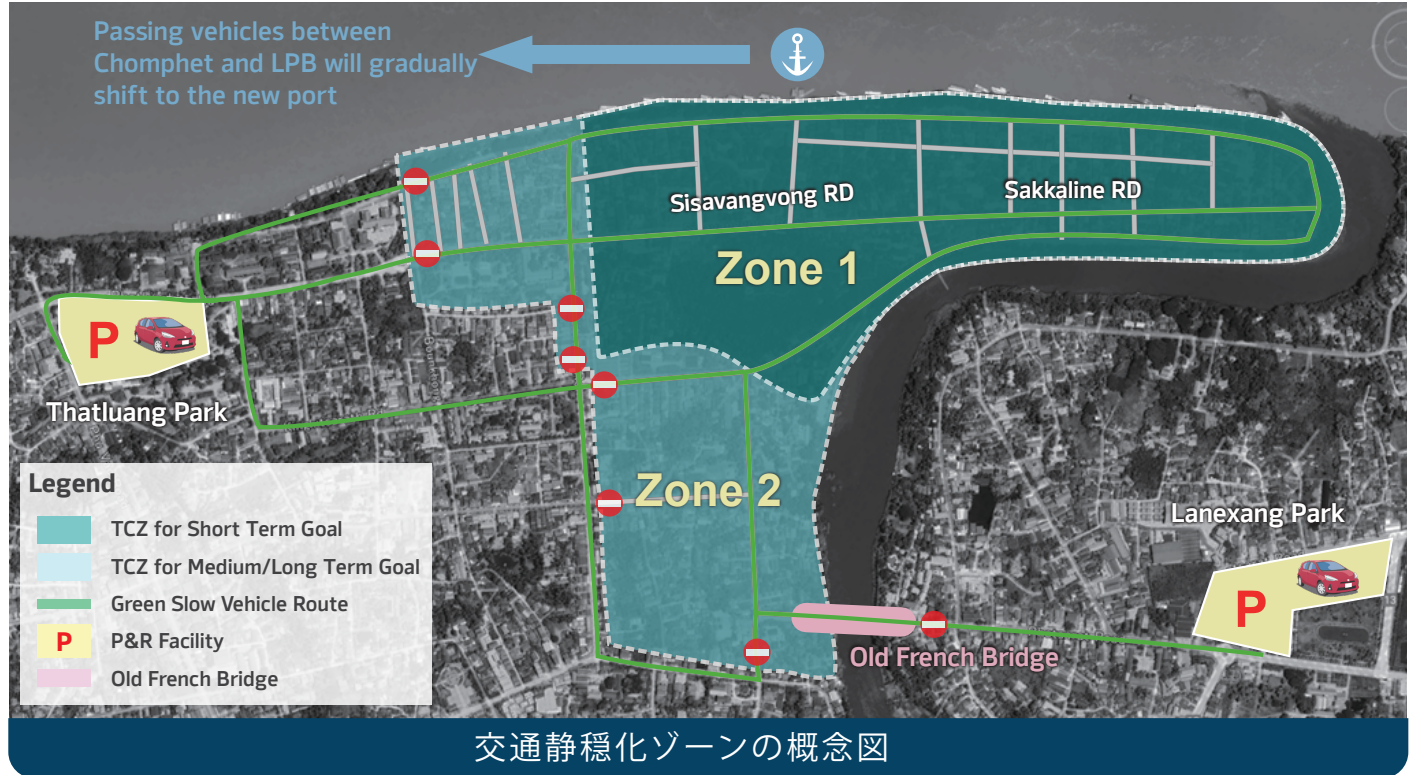




主要アクションコンポーネント

世界遺産地区における交通静穏化ゾーンの導入

ルアンパバーンの歴史的な中心市街地において、文化的・歴史的価値を保全するとともに、安全で快適な歩行者空間を確保するため、交通静穏化ゾーン (TCZ) を導入します。原則として、居住者、許可されたサービス車両および配送車両を除き、自動車類の進入を制限します。また、時間帯別の進入規制を厳格に実施します。TCZは、関係者との継続的な協議を行いながら、2030年に向けて段階的に導入していきます。



メインストリートのデザイン

人を中心としたストリートを実現するため、路面にはインターロッキングを採用します。あわせて、安全性や景観に十分配慮したストリートデザインを、住民や関係者との継続的な対話を通じて検討・策定していきます。

シサワンウォン通りおよびサッカリン通りのコンセプトデザイン

プレイスメイキング

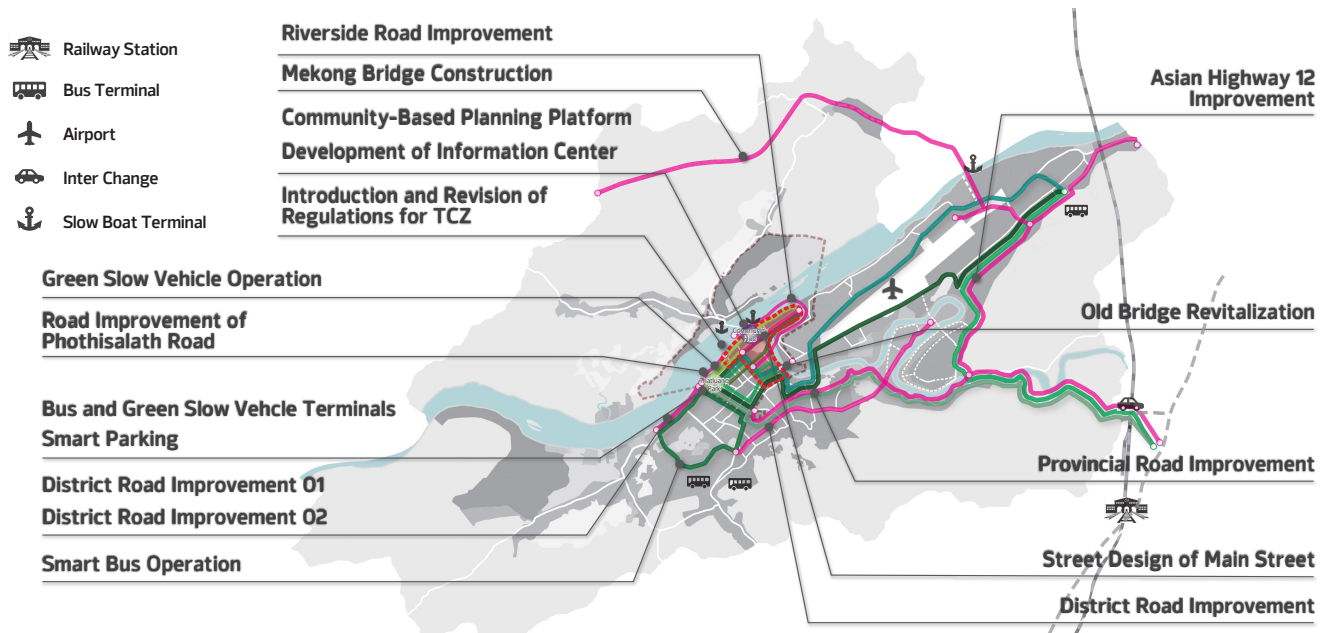
住民が主体となり、地域へのつながりや誇り(シビックプライド)を感じられるまちを目指し、プレイスメイキングを通じたコミュニティ主導の都市づくりを推進します。その一例として、住民と来訪者の交流を促進するコミュニティ拠点の整備が進められています。



最優先アクションコンポーネント

短期的に取り組むアクションコンポーネントのうち、今後3年以内に実施すべきものを最優先アクションコンポーネントとして整理しています。以下に示す項目に関連するアクションを、最優先で取り組むべきアクションコンポーネントとして選定しています。

- 1 交通静穏化ゾーン (TCZ) 指定に必要な交通規制の見直し
- 2 TCZ内およびその内外を結ぶ移動を確保するための公共交通システムの整備
- 3 シビックプライドを育むための住民参加型コミュニティ・プランニングの実践
- 4 TCZ内の主要街路における歩行空間の再編 (ストリートデザイン)
- 5 歩道が未整備で交通量の多い生活道路における歩行者・自転車の安全性向上
- 6 広域移動および物流を支えるための道路整備・改良



最優先アクションの位置図

合同調整委員会 (JCC) 構成組織

- ◆ 公共事業運輸省
- ◆ ルアンパバーン県公共事業運輸局
- ◆ ルアンパバーン県文化観光局
- ◆ チョンペット郡役場
- ◆ ラオス国立大学
- ◆ ルアンパバーン県
- ◆ ルアンパバーン県公共安全治安局
- ◆ ルアンパバーン市役所
- ◆ スファヌボン大学
- ◆ JICA

Contact: Department of Public Works and Transport, 13N Road, Phonexay Village, Luang Prabang City, Luang Prabang Province, Lao PDR

Tel: 071 253 710